

## ヨモギ (蓬)

名前<sup>いみ</sup>の意味：古くからの名。意味<sup>いみ</sup>は不明。

分類：双子葉類、キク科、ヨモギ属

(キク科の栽培<sup>さいばいしよくぶつ</sup>植物：ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ、)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、土手

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた(自生<sup>じせい</sup>)

特徴：細かく切れ込んだ<sup>こ</sup>よいにおいのする葉、葉の裏の白い毛、たくさんの緑色の小さな花

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁<sup>ごうべん</sup>の数：合弁(花びらがつながったまま落ちる)、5裂<sup>れつ</sup>

花の時期：9—11月

食べ方：若い芽はすり鉢<sup>ばち</sup>ですって、もちや団子<sup>だんご</sup>に混ぜて、草もちや草団子を作る

見分け方：身近に似た植物はない。ヨモギ独特のいい匂いがする。

見つけやすさ ★

見分けやすさ ★

総合<sup>そうごうなんいど</sup>難易度 ★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)